

## 記入例

別記様式第1号(第3条関係)

補助金等交付申請書

令和●●年●●月●●日

和歌山市長 様

申請者

住所 和歌山市七番丁23番地

氏名 株式会社わかやま

代表取締役 和歌山 太郎

(団体の場合は、団体名及び代表者名)

和歌山市補助金等交付規則第3条の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	令和●●年度	補助事業等の名称	和歌山市デジタルツール導入 支援補助事業
補助事業等の目的及び内容	生産性向上を図ることを目的として、デジタル ツールを導入する際にかかる経費の一部を補助		
補助事業等の経費所要額	税抜き金額でご記入ください。 ●●●, ●●●円		
交付申請金額	1,000円未満は切り捨ててください。 ●●●, ●●●円		
補助事業等の完了予定年月日	令和●●年●●月●●日		
添付書類	・事業計画書 ・収支予算書 ・履歴事項全部証明書 ・市税の完納証明書 ・法人市民税の納税証明書 ・見積書 ・パンフレット ・IT・IoTツールを販売する企業の履歴事項全部証 明書 ・デジタルツール導入に関する確認書		

# 記入例

別記様式第1号(第6条関係)

## 事業計画書

申請者の概要	資本金又は 出資金額	10,000,000 円					
	従業員又は 組合員数	10 人					
	業種	旅館業					
	事業内容	昭和●●年より、●●駅前で客室30室のビジネスホテルを運営している。					
	担当者名	和歌山 花子					
	電話番号	●●●-●●●-●●●●					
	メールアドレス	●●●@●●●					
導入商品概要	<p>(1) 導入商品の名称 「●●●」</p> <p>(2) 導入目的、経緯等 現在、予約管理を紙及びエクセルで実施しているが、予約時の確認に時間を要し、記入ミスなどもみられる状況である。そのため、予約管理をシステム化することで、予約管理の正確性、迅速性を上げることが必要となってくると考えたため、上記商品を導入することを計画した。</p> <p>(3) 導入商品の機能、期待できる効果等 導入する製品は、システム上で予約管理ができるとともに、Webからの予約も自動で対応できるため、これまで従業員が時間をかけて実施していた予約作業が軽減されることにより、新たなサービス等に人員を割くことができ、また、Web予約の開始により新規顧客の獲得も見込める。加えて、売上管理もシステム上で可能となるため、経営状況を逐一把握することができる。</p>						
計 画		決算期① (22/6)	決算期② (23/6)	決算期③ (24/6)	決算期④ (25/6)	決算期⑤ (26/6)	決算期⑥ (27/6)
	売上総利益 (千円)	20,000	22,500	22,750	23,000	23,100	23,200
	従業員数 (人)	10	11	11	11	11	11
	年平均勤務時間 (1人当たり時間)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	※労働生産性 (円)	1,333.3	1,363.6	1,378.8	1,393.9	1,400.0	1,406.1
	※労働生産増減率 決算期①対比(%)	—	2.3	3.4	4.5	5.0	5.5
<p>※1 労働生産性 = 売上総利益 / 従業員数 × 1人当たり年間平均勤務時間</p> <p>※2 増減率 = (各期の労働生産性 - 決算期①の労働生産性) / 決算期①の労働生産性 × 100</p>							

記入例

収 支 予 算 書

（単位：円）

収入の部			支出の部		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
補助金	400,000		ソフトウェア導入費	700,000	
自己資金	600,000		保守・サービス費	80,000	
			外注・委託費	200,000	
			研修費	20,000	
計	1,000,000		計	1,000,000	

税抜き金額で記入してください。

# 記入例

別記様式第3号(第6条関係)

## デジタルツール導入に関する確認書

貴社のシステム構築の経験年数又はA I若しくはロボットの販売経験年数	6年
これまで貴社が開発又は販売した主な商品	「●●●●」
今回導入する商品の名称	「●●●●」
今回導入する商品の利用形態	<u>I T・I o T又はA I</u> <u>オンプレミス</u> ・クラウド・その他 ( )  ロボット 垂直多関節ロボット・スカラロボット・直交ロボット パラレルリンクロボット・その他 ( )
当該商品の対応業種	宿泊施設
導入する商品の主な機能	<ul style="list-style-type: none"><li>・予約管理 (電話・Web)</li><li>・顧客管理</li><li>・売上集計、分析</li></ul>
当該商品を販売する立場から見て、導入により期待できる効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・予約管理をシステム管理とすることで、瞬時に予約状況を確認できる</li><li>・売上げが毎日自動集計されるためリアルタイムで売り上げ状況を確認できる</li><li>・顧客管理を行えるため、リピーター情報を把握できる</li></ul>
デジタルツールを販売する事業者名	和歌山市●●●番地● 株式会社わかやま 代表取締役 和歌山 太郎

※上記内容について、必要に応じて確認を求めることがあります。